

明日香における歴史展示の推進 ～明日香における歴史展示等のあり方「基本方針」～

現状

明日香の価値は、“**国家基盤が形成された地**”であるという**「歴史」**そのものがあるが、誰もが歴史を体感できる状況ではない。

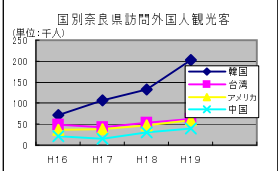
価値あるものが地下に埋もれており、来訪者にとって明日香の意義や歴史がわかりにくい



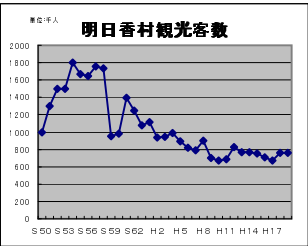
飛鳥京跡苑池の現状

「**歴史物の展示**」はあっても、「**歴史の展示**」が不十分

東アジアから奈良を訪れる観光客は増加傾向にあるが、現地において東アジアとの“ゆかり”に関する情報が乏しい



観光客数が昭和50年代の年間180万人をピークに、現在は80万人前後で低迷



目指すもの

- 歴史展示の推進により明日香の価値を高める
- 明日香における歴史的風土の維持・向上を図る
- 明日香における賑わいの形成を図る

明日香＝中南和観光の拠点
明日香を拠点に桜井・吉野・宇陀地域等へ

明日香での歴史展示を奈良全体に展開し、**明日香・奈良の魅力向上**
歴史展示拠点 北…奈良エリア、南…明日香

ポスト1300年祭における**奈良の観光力の向上**

